

平成 31 年度山梨大学医学部看護学科推薦選抜入学試験問題用紙

小論文 I

問 次の文章を読みとり、あなたにとっての「自己実現」について 600 字以内で記述しなさい。

自己実現とは何か

この「自己実現」ということばを、「なりたい職業に就職できた」という意味にとって「小さい頃から自分はスチュワーデスになりたいと思っていて、大学を出てスチュワーデスになった。これで自己実現をした」というふうに、ジャーナリズムでは誤って使うことが多い。しかし、本当の意味はそうではない。「自己実現」というのは、「自分自身になる過程」であり、「その人独自の心理学的特徴や自分の可能性を十分に伸ばす過程」である。これは、ドングリにたとえるとわかり易い。ドングリを土に埋めると芽が出て、育って大木になるのは、ドングリの中に、もともとカシの大木になるという素質、運命が含まれているから、太陽の光、水などのいろいろなものに恵まれると大木に育つのである。それは、いわばドングリの自己実現であり、その可能性を含んでいたものを伸ばすことができたのだ。

すべての生物体は、一生涯を通じて、ただ一つの欲求を持っている。それは自分自身の潜在力を実現したいという欲求である。ドングリはカシの木になり、小犬は成長して猛犬になり、人間も同様に一人前の人間になりたいという欲求である。しかし、自己の本性を実現するという人間の仕事は、ドングリや犬よりもはるかに難しい。

人間というのは個人個人が全部異なった可能性を含んでおり、その各自の可能性をのばす過程を自己実現と呼ぶのだ。

人間はたえず育っていくものである。「育つ」というと 20 歳ぐらいまでの身体の発育を連想する人が多いし、それから先は退化の一途だと勘違いされているが、それは体だけのことであって、人間の精神は死ぬまで育ち続けるのである。人間の心は育っていく能力を秘めているのだ。死ぬまで伸び続ける自分の素質、可能性を十分に開花させる過程が自己実現なのである。

小林 司、「生きがい」とは何か 自己実現へのみち、日本放送出版協会、1997 より抜粋

平成 31 年度山梨大学医学部看護学科推薦選抜入学試験問題用紙

小論文Ⅱ

図は OECD（経済協力開発機構）が 2014 年に発表した加盟国の男女別の家事時間と睡眠時間について一部を抜粋したものです。以下の間に答えなさい。

【問 1】各図の特徴についてその要旨を 100 字以内で記述しなさい。

【問 2】図の特徴からどのようなことを考えますか 500 字以内で記述しなさい。

